

## 【件名】

### 市内運行私鉄バス利用に関するお願いについて

#### 【内容】

年齢を重ねて参り、車の運転が眼の病気で出来なくなり3年になります。現在、京浜急行バスが発行しております「フリーパス」を利用させていただいておりますが、市内を運行しております江ノ電バスにはこの定期は利用できません。横浜市や東京在住の方達のような高齢者に優しい施策として、鎌倉市も両社(京急+江ノ電バス)共通に利用出来る乗車パスを提案、実現していただきたくお願い致します。家に閉じ込もりがちな高齢者の健康維持の為にもご尽力いただきたくお願い致します。よろしくお願い申し上げます。

#### 【回答】

市内を運行しているバス会社は3社であり、それぞれ高齢者向け割引パスを販売しております。パスの共通化の可否について各社に確認したところ、各社の鎌倉市における運行状況や、高齢者向け割引パス販売額、販売対象、割引率等が異なる中、民間会社間の協議だけでは実現は難しいとの回答がありました。

横浜市では、行政が全社共通の敬老バスを発行し、市民の申請に基づいて交付しています。所得等に応じた利用者負担額を納付すると敬老バスが交付され、バス等に乗車するときに提示すれば無料で乗車できる仕組みです。市民の利用者負担はありますが、バス会社ほか交通事業者に対する配分金等事業費の多くを市税でまかなっています。

横浜市の場合は、市営バス、市営地下鉄を運行していることから、共通パスの発行について主導することができたと思われませんが、鎌倉市が実施する場合は、その実施の可否について民間バス会社との協議を行い、理解を得る必要があります。また、事業のための財源確保等、解決しなければならない多くの課題もあり、なかなか実現は困難な状況です。

御指摘のとおり、高齢者の外出を支援することは、高齢者の心身の健康維持に有効であると考えております。高齢者の閉じこもりを防ぐため、移動手段の確保や外出機会の創出について、引き続き検討してまいりますので、御理解のほどよろしくお願い申し上げます。

平成30年2月7日対応/回答